

# ノーモア・ヒバクシャ通信 第64号

2023年8月9日

ホームページ <http://www.nomore-hibakusha.org>  
継承ブログ <http://keishoblog.com/>  
フェイスブック <https://www.facebook.com/kiokuisan>  
ツイッター <https://twitter.com/nomorehibakusha>

発行者  
NPO 法人 ノーモア・ヒバクシャ記憶遺産を継承する会  
〒102-0085  
東京都千代田区六番町 15 プラザエフ 6F  
Tel/Fax 03-5216-7757 (直通)  
Email: [info-kiokuisan@nomore-hibakusha.org](mailto:info-kiokuisan@nomore-hibakusha.org)  
郵便振替口座 00110-5-292881  
口座名義 ノーモア・ヒバクシャ記憶遺産を継承する会

## 《目次》

- I. 「国連原爆展」の Web サイト（日英版）を開設しました
- II. INMP ウブサラ会議にエントリーします
- III. 東京都の「認定 NPO 法人」の更新審査を受けました
- IV. 「親子で知るヒロシマ」参加者募集
- V. 【関連行事】日本生協連等など 広島で「ミライの平和活動展」開催
- VI. 会員からのお知らせとお願い
- VII. ブックレット『被爆者からあなたに』が4刷に

### I. 「国連原爆展」の Web サイト(日英版)を開設しました ～ 制作費の募金を呼びかけています ～

日本被団協が国連で開催してきた原爆展の Web サイトを開設し、8月4日（金）からオンラインで「国連原爆展」を見ることができるようになりました。

以下の URL にアクセスしてご覧ください。スマートフォンからもパソコンでもアクセスできます。日本語版、英語版を切り替えてご覧になれます。

<https://hiroshima-nagasaki-museum.org/>

【NO MORE Hiroshima & Nagasaki MUSEUM】Web サイトを内外の知り合いに拡散・普及し、今こそ「ノーモア・ヒバクシャ」の声を世界に広げましょう。

### 「国連原爆展」Web サイト制作の募金（クラウドファンディング）にご支援を

また、このサイトの制作費350万円のクラウドファンディング（募金）も呼びかけています。

オンラインミュージアム、クラウドファンディングの詳細は、チラシを同封しましたのでご覧ください。

募金は、次のいずれかの方法でご協力ください。

① パソコンやスマホから：<https://rescuex.jp/project/81065>

② ①による送金が難しい場合：郵便振替で

同封の郵便振替用紙をご使用ください。住所欄には、できるだけご自宅の住所をご記入ください。（⇒Ⅲ.の注記参照）



※ ゆうちょの電信振替や銀行振込をご利用の場合は、氏名、自宅住所、電話番号、送金目的：原爆展クラファン、支援金額を、メールあるいは電話で必ず事務局までお知らせください。

知人・友人のみなさまにも、広くご協力を呼びかけてくださるようお願いいたします。

## Ⅱ. INMP ウプサラ会議にエントリーします

平和のための博物館国際ネットワーク（INMP）が8月14日～16日、スウェーデンのウプサラ大学で国際的な討議・交流の会議を開催します。当会は8月15日開催のセッション「平和構築のための教育—世界の事例から」にオンラインでエントリーし、【NO MORE Hiroshima & Nagasaki MUSEUM】サイトを活用するよう呼びかけるプレゼンテーションを行います。世界各地の「平和のための博物館」が国連原爆展 Web サイトを活用し、各国で普及することを期待しています。

## Ⅲ. 東京都の「認定 NPO 法人」の更新審査を受けました

7月30日 10:00～16:00、四谷の主婦会館プラザエフ5階会議室で、東京都より竹田綾管理法人課課長代理、ほか3名が来館し、当会が提出した「認定更新申請書」に基づき関連書類の現地確認作業及び申請事項のヒアリングが行われました。

これは、5年前に取得した「認定 NPO 法人」資格を更新するため、この5年間の実績を審査するものです。「認定 NPO 法人」は、寄附者の寄附行為に対し所得税や相続税の減免のための【受領証明書】を発行することができます。これを継続する前提条件「寄附3千円以上の寄附者\*100名以上」（5年間平均）を確認しました。引き続き、指摘事項に関する所要の手続きを進めます。

（\*）認定 NPO 法人として「認定」されるには、「寄附3千円以上の寄附者100名以上」（年平均）が必要です。この度の審査の過程で、この要件としての「寄附者」には、（職場ではなく）自宅の住所の記載が必要であることが分かりました。

職場のご住所でも、認定の要件に該当しないだけで、税制上の控除は受けられませんが、お差し支えなければ、ご寄付の際にご自宅の住所をお知らせくださるようお願いいたします。

#### IV. 8月27日（日）開催 「親子で知るヒロシマ」参加者募集

夏休みに親子で被爆体験を聞いて、平和について考えてみませんか。小学校低学年のお子さんにもわかりやすい紙芝居「おばあちゃんの人形」を観たあとで、紙芝居のモデルになった花垣るみさん（5歳の時に広島で被爆）とお話会をします。親子向けの企画ですが、どなたでも参加いただけます。途中退室もOKです。

【開催日】 8/27（日）13時00分～14時00分

【定員】 親子15組をふくむ30名

【参加費】 無料

【参加申込】 以下の参加申込フォームからお申込みください

<https://forms.gle/j2DZRSneZqkiBzXN6>

【企画運営】 ノーモア・ヒバクシャ記憶遺産を継承する会「未来につなぐ被爆の記憶」ボランティア

#### V. 【関連行事】 広島で「ミライの平和活動展」

東大渡邊研究室・広島県生協連・日本生協連などの共催で

8月4日より、全国の生協代表が広島・長崎に集う「ピースアクション in ヒロシマ・ナガサキ」を開催しました。（ヒロシマ：4～5日／ナガサキ：7～8日）



その一環として、8/1～6日には広島テレビの新本社（広島駅のすぐそば）のロビーにて、「ミライの平和活動展」を開催（東京大学の渡邊研究室と、広島県生協連・日本生協連等の共催）。渡邊研究室

の IT を使った継承活動のコンテンツの紹介と並んで、国連原爆展のパネルの一部を展示しました（写真左）。

人通りも多く、広島テレビがかなり宣伝してくれたこともあって、いろいろな方に見ていただけそう。NO MORE Hiroshima & Nagasaki MUSEUM のクラウドファンディングの案内もしました（写真右）。

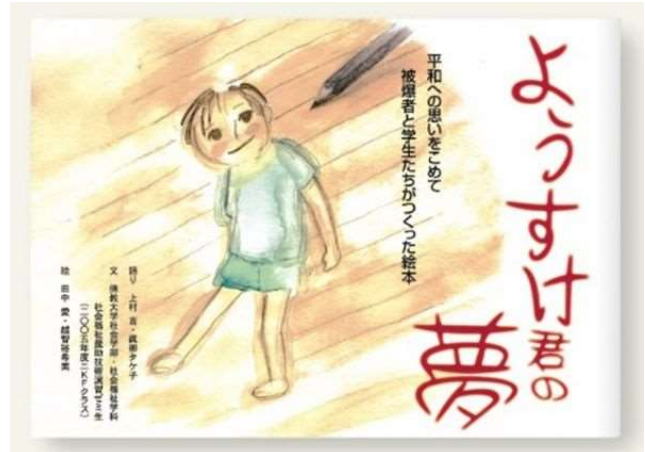


2023 ピースアクション in ヒロシマは「未来につなぐヒロシマの心～被爆78年 戦争も核兵器もない世界を～」が開催テーマ。5日の午後には、最大企画の「虹のひろば」を行い、オンラインでの配信もしました。

## VI. 会員からのお知らせとお願い

長崎で被爆した眞柳タケ子さんの体験をもとに佛教大学の学生が製作した絵本『ようすけ君の夢～平和への思いをこめて被爆者と学生がつくった絵本～』（2008）を再版するため、正会員の黒岩晴子さんが支援を呼びかけています。

ウクライナでの戦争が続いて核兵器使用への懸念が高まり、被爆者をはじめ多くの人びとから再版を望む声が寄せられました。クラウドファンディングのプロジェクト「絵本を通して被爆体験を伝え平和への思いを発信したい」で、1,000冊の再版に関わる費用（120万円）の募金が呼びかけられています（7月31日～10月20日）。



★ クラウドファンディングのサイト <https://camp-fire.jp/projects/view/689862>

★ 郵便振替の口座 00990-2-280187 「平和ゼミ出版支援基金」

## VII. ブックレット『被爆者からあなたに』が4刷に

日本被団協が編集し2021年に発行した『被爆者からあなたに—いま伝えたいこと』（岩波ブックレット）は、少しずつ広がり、版を重ねています。この間の紙代の値上がりなどにより、8月中旬の4刷から、定価が680円＋税となります（旧価格：620円＋税）。現在、被団協にある在庫分までは、旧価格での販売となります。

被爆者たちの原爆とのたたかいから学び受け継いでいくために、ひきつづき、広く普及しご活用くださいますようお願いいたします。

以上

★ 8月6日の広島平和記念式典では、松井一実市長「平和宣言」や湯崎英彦知事が、核抑止論を厳しく批判、そこからの脱却を求めました。「被爆者」をめぐるでも、岸田首相は高齢化する被爆者への「援護施策の推進」を述べただけでしたが、グテーレス事務総長のメッセージ（中満泉国連事務次長が代読）では、被爆者たちの核兵器廃絶への努力に何度も言及されたことが印象に残りました。

記録的な猛暑に加えて、各地をおぞう豪雨、コロナ感染者増と、心配の絶えない夏ですが、みなさま、くれぐれも健康に留意して過ごされますように。